

NAVI エペ・台湾キャンプ及び試合参戦 報告書

Asian Cadet Circuit 2017 エペ/台湾大会

- 1、派遣先 キャンプ地・試合地 台湾・台北市
- 2、派遣期間 平成29年11月13日(月)～平成29年11月21日(火)
- 3、宿泊先 王朝大酒店 (Sunworld Dynasty Hotel) ※大会指定ホテル
Address: No.100, DunHua N Rd, Songshan District, Taipei City
Tel +886 2 2719 7199
- 4、練習場所 鬥魚擊劍俱樂部 (Fighting Fish Fencing Club)
臺北市立中正國民中學 (zhongzheng Junior High School)
- 5、出場大会 Asian Cadet Circuit Epee 2017 台湾大会
- 6、試合会場 Taipei Gymnasium
Address: No.10,Sec.4,Nanjing E.Rd., Songshan Dist.,
Taipei City 105,Taiwan

※大会詳細は10、の試合結果参照

- 7、引率者 団長 上津さくら 成田遼介・和田佳子・神久美子 (JTB)

- 8、派遣選手名

(全国中学生フェンシング選手権及び東かがわ市長杯上位入賞者)

男子		女子	
浅海 聖哉	埼玉エスクリム	石川 夏帆	香川 JFC
大谷 謙介	アルプス	伊藤 杏樹	筑波大学附属高等学校
金尾 周平	大阪読売千里クラブ	大北 夏琳	羽島北高等学校
上出 日向	板橋フェンシングクラブ	川口 実来	明石 Jr フェンシングクラブ
唐澤 颯斗	プラチナフェンシング	小林 叶佳	スターフェンシングアカデミー
坂藤 秀昌	三田フェンシングクラブ	濱松 里紗	埼玉栄中学校
関原 麗充	沼田高等学校	山内 梨緒	掛川西高等学校
武井 琉晟	栃木商業高等学校	陸川 麻琴	大穴フェンシングクラブ

9、日程

日付	時間
11月13日	10:15 集合 羽田空港国際線ターミナル3階
	12:15 羽田空港発 エバー航空191便
	15:00 台湾 松山空港到着
	JTB手配のバスにてホテルへ移動
	16:30 ホテルの空き部屋にてミーティング
	17:30 ホテル隣接のショッピングモールにて夕食・買物
11月14日	7:00 散歩・体操
	7:30 朝食
	11:00 昼食
	13:00 集合 バスにて練習会場へ
	14:00～16:00 練習 (鬥魚倶楽部)
	16:30 半数は別の練習場へ移動/残り組は夕食へ
	17:00 別会場到着 (臺北市中正國民中學)
	17:30～19:30 練習 (中正國民中學)
	19:30～21:30 練習 (鬥魚倶楽部)
	20:00 夕食 (中正國民中學での練習者)
11月15日	8:00 散歩・体操
	8:30 朝食
	11:00 集合・昼食の買物
	13:00 集合 バスにて練習会場へ
	14:00～16:00 練習 (鬥魚倶楽部)
	16:30 半数は別の練習場へ移動/残り組は夕食へ
	17:00 別会場到着・夕食 (臺北市中正國民中學)
	17:30～19:30 練習 (中正國民中學)
	19:30～21:30 練習 (鬥魚倶楽部)
	20:00 夕食 (中正國民中學での練習者)

11月16日 8:00 朝食
9:00 集合 バスにて練習会場へ
9:30～12:10 練習 (闘魚倶楽部)
12:30 昼食
13:45 文化視察 (バス使用)
龍山寺・九份

11月17日 8:00 散歩・体操
8:30 朝食
11:00 集合・昼食の買物
13:00 集合 バスにて練習会場へ
14:00～16:00 練習 (闘魚倶楽部)
17:00 夕食
19:00～20:30 練習 (闘魚倶楽部)
※中正國民中學が休みの為全員闘魚で練習

11月18日 8:00 朝食
9:00 試合会場へ出発
練習・武器検査
12:00 昼食
14:30 買物
17:00 監督会議 (選手は部屋で待機)
18:30 夕食

11月19日 6:30 朝食
7:15 会場へアジアカデ女子のみ試合
8:30～17:30 試合

11月20日 6:45 朝食
7:30 会場へアジアカデ男子のみ試合
9:00～15:00 試合

11月20日 5:10 集合 バスにて空港へ

7 : 3 0 松山空港発 エバー航空 1 9 2 便
1 1 : 1 5 羽田空港着 解散

1 0、試合結果

参加国：日本・アメリカ・インド・台湾・フィリピン・香港・マレーシア

参加人数：女子 30 名、男子 27 名

女子

6 位 大北 夏琳
8 位 伊藤 杏樹
1 0 位 山内 梨緒
1 1 位 陸川 麻琴
1 2 位 濱松 里紗
1 5 位 川口 実来
2 3 位 石川 夏帆
2 5 位 小林 叶佳

男子

優勝 関原 麗充
準優勝 大谷 謙介
3 位 浅海 聖哉
1 0 位 坂藤 秀昌
1 1 位 金尾 周平
1 1 位 唐澤 颯斗
2 1 位 上出 日向
棄権 武井 琉晟

1 1、海外キャンプについて

今回のキャンプでは、宿泊ホテルから移動しやすい台北市内の練習場を選んだ。

台北市内の練習場所は比較的狭小であると聞いていたので、鬥魚倶楽部、中正國民中學の2つのクラブに受け入れてもらった。

練習場所は平日という事もあり、昼間は台湾の選手がいないので、午後に日本人のみで練習を行い、夕方から夜にかけて各クラブの選手とファイティング中心の練習を行った。闘魚倶楽部で14時から練習を行い、その後半数が中正國民中學へ移動し練習を行った。

両クラブともエペ選手が多かったため、いろいろなタイプの選手とファイティングができ有意義なキャンプとなった。



12、試合参加について

今回は Asia Cadet Circuit Epee 2017 に参加した。今年度が初開催だった事もあり参加人数は少なかったがレベルの高い選手が集まった。また、今回の大会ではインドの選手の台頭が目立った。男子に関しては日本が上位独占したが、女子に関してはインド、香港の選手に惜敗した。

武器検査は、剣、マスク、ワイヤーの他、ユニフォーム、グローブも検査対象だった。

しかし、濡れているユニフォームは検査マークをつけてもらえず、練習後に武器検査をしたので困惑した。

・ 試合風景



最後に

今回の合宿では2つのクラブで練習できた事により、選手たちの競技レベルにあった相手のいるクラブで練習させることができた。チームでの練習時間中に、フットワークや個人レッスンで技術指導を行い、各クラブの選手とのファイティング後にフィードバックでゲームメイクの方法やメンタル面での指導を行った。また、ウォーミングアップやクールダウンの重要性を説き、方法を教え、全員がその重要性を知って取り組む事ができた。

クラブチームでは、試合前ということもあり日本・台湾の選手だけでなく、マレーシア・ヒリピン・シンガポール・香港など様々な国の選手と剣を交える機会があり、日本の選手たちにとって良い経験になった。

参加選手は個々の体力・技術の差はあったが、全員がフェンシング競技に対する意欲と向上心があり真摯に練習に取り組んでいたため、各々大変有意義な遠征となった。

規律、自己管理に関しても最初のミーティングから指導し、至らない場合はその都度注意することで、日本代表としての自覚が生まれたと思われる。

しかし、カデの選手1名が疲労からくる体調不良で棄権という結果になってしまい、コーチは事前の体調管理をしっかりとさせる必要があった。体調不良の選手への対応は協会（大橋様）との連携がうまくいき、スムーズに対応できた。

今回の遠征では、台湾フェンシング協会の協力により滞りなく終了でき、またこれを機に同協会と太いつながりができた事を報告します。

以上

2017年12月6日